

フェアプレイ
インタビュー

【自転車競技 (BMX)】
はたけやま ささき
富山紗英選手



プロフィール

生年月日: 1999年6月7日
出身地: 神奈川県
好きな食べ物: 母の作った焼きそば

09、11、12年
BMX 世界選手権
年齢別ガールズクラス優勝

正々堂々と競技と向き合う
人のせいになれない心の強さ

10歳で年齢別世界選手権優勝

富山紗英選手は父と兄の影響で4歳からBMXレーシングを始めました。週末しか練習場に行けない環境でも、出来ることを工夫しながら練習に励むなど、努力は人一倍しました。その努力が実を結び、小学生になると国内大会で優勝を重ね、世界選手権10歳ガールズクラスに出場すると国際大会で初優勝。その後、12歳、13歳時にも同年齢の

クラスで優勝を飾りました。現在は東京オリンピック出場を目指して奮闘しています。



「フェアプレイ宣言」しました!!



努力は実を結ぶ

自身を「負けず嫌い」と話す富山選手。これまでの経験を振り返り、読者のみなさんへ「初めて勝った時の嬉しさや楽しさは今でも覚えています。頑張ったことは結果が出ます。目標に向かって努力することが大事です」とメッセージを送ってくれました。

正々堂々とした強い精神

BMXは急な坂や激しい起伏のあるコースを最大8名でレースするため、転倒すれば自分だけでなく他の選手も怪我をしてしまうことがあります。「昨年の世界選手権では、私の転倒で後続の選手が怪我をしまいました。レース後に謝りに



JCF / Kenichi Inomata

BMXレーシングって
どんな競技?

BMXはバイシクル・モトクロス(バイク)の略。自転車競技の一つで、最大8選手が一斉にスタートし、激しい起伏やジャンプ台、傾斜のついたコーナーを駆け抜け、順位を競います。



スポーツを楽しむ気持ち

村岡桃佳選手

平昌パラリンピックのアルペンスキー大回転で金メダルを獲得した村岡選手

4歳の頃に脊髄炎による下半身に足が自由に動かなくなった村岡選手

大好きだった外遊びができず引きこもるようになってしまった

そんな時期に父に連れて行ってもらったのが障がい者スポーツの体験会

そこで仲間と一緒に体を動かす喜びを感じ出した

自分にも楽しむことができるスポーツがあること知った村岡選手は

様々な競技に取り組んでいく中で小学校2年生の時スキーと出会った

風を切る感覚がとてみ気持ちよく一瞬で

楽しい!

もっとやってみたい!

しかしそんな時も大好きなスキーで

世界にチャレンジしたい

好きなことに全力でチャレンジしたいという思いがあったからこそ努力を続けることができた

平昌パラリンピックでは金メダルを獲得

もしスキーを心から愛していなかったらいなかったらどう

まだ自分の限界を超えていません!

平昌パラリンピック後も勇気にもっと高みを目指し続ける村岡選手

これからも彼女のチャレンジは続いていく